

資料7-2

北名古屋市総合計画審議会

第2次北名古屋市総合計画策定に向けた市民ワークショップ
特別企画

おとな×子ども

「まち・ゆめ・みらいを考えよう！」

実施報告書

平成29年4月
北名古屋市

1 開催目的

第2次北名古屋市総合計画の策定にあたり、未来を担う子どもたちや保護者、若者たちの様々な考えやアイデアを把握し、まちづくりに対する想いを共有する機会とするため実施しました。

2 開催概要

(1) 日時

平成29年4月9日（日）午後1時30分～午後4時

(2) 場所

北名古屋市役所西庁舎 コミュニティセンター 3階 ホール

(3) 参加者

40名

おとな	26名	
子ども	14名	
	大学3年生	2名
	高校3年生	1名
	中学3年生	2名
	中学1年生	4名
	小学6年生	1名
	小学5年生	3名
	小学2年生	1名

※ 参加者募集方法は、「広報北名古屋」平成29年3月号への記事掲載及び市内公共施設等にポスターの掲示等を行いました。

参加者募集のチラシ

どなたでもお気軽に！参加者大募集！



北名古屋のまちの夢・未来を一緒に考えるワークショップ

わたしたちが暮らす北名古屋市。遊び、食、眠り、学び、働き、さまざまな活動を行う場である「まち」は、現在から未来にかけて変化し続けています。「まち」を暮らしやすいものとするように変化させるため、考え、計画し、そして実行していくのが「まちづくり」です。「まちづくり」は誰かがやってくれるもの、というのが今までは当たり前でしたが、全世界のいろんな「まち」で、国や市町村と住民が、大人も子どもも一体となってまちづくりを進めているところが増えてきています。そこで、みなさん自身が「まちづくり」を考えてみる機会をつくりました。気軽に思ったことをどんどんお話しただけは大丈夫です（へっほ）北名古屋の未来の「まち」をより暮らしやすいものとするために、みんなでワイワイ、フワフワ、どどん、話しましょう！

平成 29 年

4/9 日曜日

午後 1 時 30 分～3 時 30 分

北名古屋市役所コミュニティセンターホール

住居：愛知県北名古屋市西之保清水田 15 番地

募集人数：小学校5年生以上～高校3年生 15名
 小学生～大人 15名

締切：定員になり次第締め切ります。

申込方法：経営企画課に直接電話でお申込みください。
 電話 0568-22-1111

主 催：北名古屋市役所総務部経営企画課
 企画運営：NPO 法人フィール・ザ・ワールド

キーノートスピーカー

小川 章 氏

●プロフィール
 開発本部開発二部部長
 20年以上、全国のまちづくり関連業務に携わりプライベートでも、愛知県内のまちづくりに関る場からのまちづくり好き、矢作地方の賑わいを北名古屋市会館・緑地区の争奪も担当していらっしゃいます。

テーブルテーマ（例）

- 生活にツツが出る施設とは？
- 「道」にまつわる思い出話
- 北名古屋のまちで見かける「芸術スポット」を世界に広めよう！
- 北名古屋の「う〜ん」な所、私ならどうする。
- 参加してみたい！こんなまちづくりなら！

など（現在検討中）

3 実施手法

ワールドカフェ方式

ワールドカフェ方式では、人と人が出会い、カフェでのような気楽で自由な対話を通して、刺激しあい、新しい発見を生み出すこと（創発）を目的としています。この時間の中で意見をとりまとめたり、答を出すよりも、様々な参加者の皆さんの経験や知恵、アイデアを持ち寄り、違いを楽しみ、それを通して参加者同士が気づき合い、知り合うきっかけづくりとし、この手法を採用しました。

4 当日のプログラム

(1) スケジュール

- 13:30～ 開場
- 14:00～14:20 キーノートスピーチ：矢作地所(株)開発本部開発 2 部長 小川 毅
- 14:20～14:30 テーブル別自己紹介
- 14:30～14:47 セッション I
- 14:50～15:07 セッション II
- 15:10～15:27 セッション III
- 15:30～15:40 テーブル毎振り返り・まとめ発表
- 15:40～15:50 主催者よりご案内



(2) テーブルテーマ

5つのテーブルに、4つのテーマを設定した。

5 対話の様子と発表まとめ

①生活にツヤが出る公共施設とは？

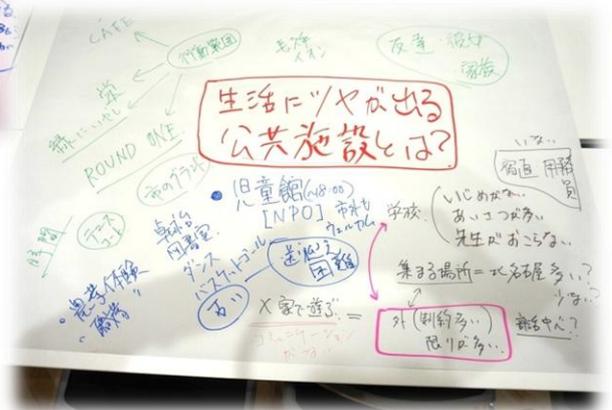
市役所、公民館、学校、グラウンド。私たちの身の回りには公共、特に北名古屋市の施設は沢山あります。私たちの生活の中にいつも登場する公共施設は私たちにとってどのような影響を与えるものなのでしょうか？一方で私たちの生活はドライであるよりも、少しツヤ(潤い)がある方が良いと感じるものです。どのような公共施設が、私たちから見てどのようなところであって、どのようなものであると私たちの生活は良いと感じるのか、ツヤ(潤い)をキーワードに考えてみましょう。

■現状に対する意見

- ・公園を使う時に、野球をしてはいけないとか、ボールを使ってはいけないなど使いづらい。
- ・ITが進展している時代に、図書館や公園でパソコンが使えない。

◆アイデア

- ・若者が利用したくなるような公共施設とするため、ソフト面の新しい取組をどんどん始めてみる。



③北名古屋のまちで見かける「芸術スポット」を世界に広めよう

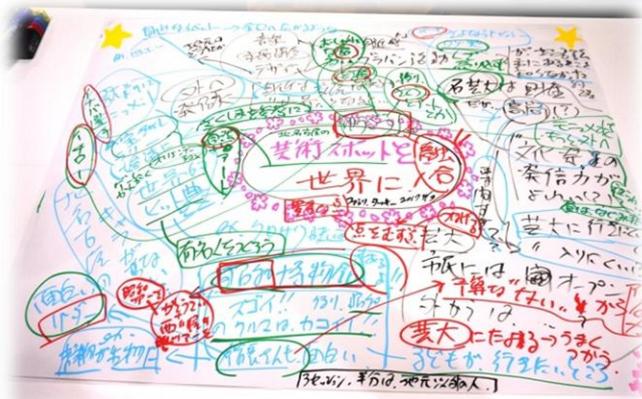
北名古屋には「名古屋芸術大学」があり、私たちは他の市町村に比べて芸術に触れる機会が多い環境にあります。一方で神奈川県相模原市の藤野地区は、「藤野ふるさと芸術村構想」による街づくりを進めており、芸術家の誘致・移住に成果を上げているところです。そこで私たちの「身の回り」の芸術スポットを、例えば世界に広めて街づくりのきっかけにできないでしょうか？

■現状に対する意見

- ・名古屋芸術大学がある。
- ・昭和日常博物館の館長が面白い方で、アイデア勝負でとても魅力的な事をしている。

◆アイデア

- ・アイデアで勝負するリーダーが生まれることが大事で、頑張っている人を皆で掘り出すといった取組が必要である。



④北名古屋の恥ずかしい場所、私ならこうする

何にだって悪いところ、恥ずかしいところはあるものです。街にももちろん恥ずかしいところ、場所があって当然です。私たちの発想力を豊かにして、この恥ずかしい場所を誇れる場所に変えてみましょう。柔軟な発想を持つ皆さんなら、市の職員の皆さんの課題を解決できるかも？

■現状に対する意見

- ・若者向けではなく高齢者向けの施設が多い。
- ・公園が集まっている地域と集まっていない地域に偏りがある。
- ・英語表記が少なく情報も少ないため、外国の人が来てもどこに何があるのかよくわからない。
- ・ショッピングモールが無いので子供を連れていける所が少ない。
- ・自習室が無くIT環境が整っていないのでとても使い辛い。
- ・無料でインターネットに接続できるスポットが無い。
- ・田舎でもなく都会でもなく中途半端なところが北名古屋の良いところ。

◆アイデア

- ・人を呼び込むコンテンツ作りが必要となる。
- ・北名古屋市のまち歩きマップを、コンビニや駅などに置く。
- ・子どもを対象にスタンプラリーを行い、北名古屋市のトリビアを入れてをもっとピアールする。
- ・彫刻等モニュメントに、「この像に触ると運気が上がるよ」とか、「この像に触ると恋愛運が上がるよ」とか、そういった噂づくりをする。
- ・田舎でもない都会でもない「中途半端が良いまち北名古屋市」を、SNSを活用しPRする。



主 催 北名古屋市
企画運営 NPO法人フィール・ザ・ワールド